



大正だより

令和8年3月2日
台東区立大正小学校
校長 石原 淳



お互いを思いやる心 教育目標にもある「思いやりのある子」を育てたいと思います 校長 石原 淳

早いもので、東日本大震災から15年が経ちました。東北を中心に大きな被害が出ましたが、発生直後から互いを思いやり、助け合う日本人の言動は、世界に大きな衝撃を与えました。その様子を伝えたTwitter(現X)の一部を紹介します。

- **ディズニーランド** ディズニーランドでは、ショップのお菓子なども配給された。ちょっと派手目な女子高生たちが必要以上にたくさんもらって「何だ？」って一瞬思ったけど、その後、その子たちが、避難所の子供たちにお菓子を配っていたところ見て感動。子供連れは動けない状況だったから、本当にありがたい心配りだった。
- **若者** 千葉の友達から。避難所でおじいさんが「これからどうなるんだろう」と漏らした時、横に居た高校生ぐらいの男の子が「大丈夫、大人になったら僕らが絶対元に戻します」って背中さすって言ってたらしい。大丈夫、未来あるよ。
- **自衛隊** ぜんぜん眠っていないであろう旦那に、「大丈夫？無理しないで」とメールしたら、「自衛隊なめんなよ。今無理しないでいつ無理するんだ？言葉に気をつけろ」と返事が。彼らはタフだ。肉体も、精神も。
- **子供** 長男小4が、自分の財布と貯金箱の中身を全部募金したいと、号泣しながら差し出してきた。コロコロコミック買えなくてもいいから、日本まもりたいから！って。
- **帰り道** 駅員さんに「昨日一生懸命電車を走らせてくれてありがとう」って言ってる小さい子達を見た。駅員さん泣いてた。俺は号泣していた。
- **避難所** 自宅は流されて自分は避難所にいるのに店が大丈夫だったから、って無料でラーメンをふるまっているラーメン屋さん…日本ってこんなに皆温かい…日本に生まれたことを誇りに思う。
- **コンビニ** 子供がお菓子を持ってレジに並んでいたけれど、順番が近くなり、レジを見て考え込み、レジ横にあった募金箱にお金を入れて、お菓子を棚に戻して出て行きました。店員さんがその子供の背中に向けてかけた、ありがとうございます、という声が震えてました。
- **街角** 外国人から見た地震災害の反応。物が散乱しているスーパーで、落ちているものを律儀に拾い、そして列に黙って並んでお金を払って買い物をする。運転再開した電車で混んでるのに妊婦に席を譲るお年寄り。この光景を見て外国人は絶句したようだ。本当だろう、この話。すごいよ日本。



考え方や感じ方が多様になっている今の時代だからこそ、互いに心を寄せ合える思いやりのある子供を育てたいと思います。本年度も本校の教育活動へのご理解とご協力、ありがとうございました。次年度もどうぞよろしくお願いいたします。

学校からのお知らせ

○保護者会 3日(火)

1、2年生 13:30～(学年オープン) 3、4、5年生 15:00～(3、4年は学年オープン、5年は体育館)

○午前授業・休業日

5日(木) 6年生の謝恩会のため、1～5年生は午前授業です。
17日(火) 卒業式の予行練習のため、1～4年生は午前授業です。
24日(火) 卒業式のため、1～4年生は休業日です。
25日(水) 修了式のため、1～5年生は午前授業、6年生は休業日です。

○卒業式 24日(火)

保護者受付 9:20 卒業式 10:00～11:30(式終了後、写真撮影があります。)
※自転車でのご来校はお控ください。外靴を入れる袋をご持参ください。

○春休みの課題

東京ベーシックドリル 各自、必要なプリントを専用のファイルにとして持ち帰ります。ファイルはご家庭で保管してください。東京都教育委員会のHPに解答が載っていますので、答え合わせにご活用ください。